

論壇

東京を歩く (4) —II型糖尿病と付き合っ—

會田 勝美

日本農学アカデミー副会長

72歳になりましたが、毎週末に現在中2の孫の山崎正太郎と歩き続けています。しかし、相棒は若く登坂、こちらは年齢の進行とともに下り坂にあり、「じいちゃん、歩くの遅いね」と言われ苦慮して歩いています。MRIで脳を調べたところ脳幹付近の中脳が多少委縮しているといわれ、これが原因かもしれません。これまで武蔵野台地の川や上水(用水)はほぼ歩き尽くしましたので、まず生まれ育った埼玉県草加市を中心に東京低地を含めて歩いています。これもほぼ歩き尽くしましたので、現在は、都内の富士塚のある神社を中心に歩いています。江戸時代以降、富士山信仰が盛んになり、富士山に登る余裕のない人は、富士講なるものを形成し、毎年、代表が富士山に登る代わりに、他の人は地元の神社に富士山様の小山を作り、それに毎年登拝することで、同じ靈験があると信じられていました。都内の富士塚を主に探して歩いていますが、現在では100程あります。かつてはもっとたくさんあったようです。とはいえ現在でも相当数が残っています。ただ残っていても網囲いして中に入れないところもあります。しかし6月末から7月1日の山開きや正月3が日は登攀が可能なようです。ただ一覽表を見ていると何故だか分かりませんが、東京都の郊外に多いようです。その理由がわかると良いのですが。その後、ほぼ富士塚も歩き尽くしましたので、山城を歩いていますが、数はそれほど多くないので。次は坂道を歩くことを考えています。都内の坂道の数は非常に多いです。

現代は最終氷期の後の後氷期にありますが、氷期には海面が130mほど低下し、東京湾は陸地となり、現在の東京湾口から先が海だったとのこと。そのため東京湾の底には古東京川の痕跡があるとか。そのため多摩川の河床が低下し、それが武蔵野台地の水が少ない一因とのこと。その後、間氷期になり、海面が上昇しましたが、縄文時代には海面が今より数m高くなり(縄文海進)、東京低地や埼玉東部の低地は海だったようです。京浜東北線に乗ると、赤羽まで西側は約10mほどの高地になっていますが、これは当時の海蝕崖とのこと。

小田原城が落城し、秀吉により江戸に移転させられた徳川家康が1590年に江戸に始めて来た時は、江戸は寂れた場所で、日比谷入り江があり、低地は利根川や荒川が流路を毎年変えて流れていました。そこで家康は利根川の東遷と荒川

の西遷を企画し、江戸を洪水から守るように考えたようです。私が生まれ現在も住む草加市を流れる綾瀬川も元は荒川や利根川の一部であったことから、別名「あやしの川」と言われていて毎年、利根川になったり荒川になったりと流路を変えていました。つまりこの辺りは低湿地でしたが利根川東遷や荒川西遷のおかげで、水田や住宅地に変わりました。草加の北部には江戸時代に出来た新田という場所があります。このような経緯を含めて草加の歴史を勉強しながら東京低地を歩いています。家康は神田を洪水から守るため、神田川の江戸寄りの岸に土手を作ったそうですが、その上を現在の中央線が走っているとのこと。北側には堤を作らなかった様です。

現在では小学生の時に習い、見学に行くのが通例の埼玉南部の見沼、見沼代用水や通船堀ですが、私の小学生の頃は、全く習いませんでした。ということもあり、定年を迎えてから歩きながら勉強し直しています。

2014

2014年1月5日(日)は、7福神巡りを北千住で行いました。北千住は草加市の南にある大きな町で、中心には日光街道(国道4号線)が通っており、現在は東武スカイツリーライン線の拠点となっています。7福神の一つは元宿神社にあり、古老の言によると北千住の元宿はかつての中心地であり、荒川放水路建設のため神社の敷地を大部分供出したとのことでした。この事実は知りませんでした。ちなみに千住七福神は以下の通りです。千住本氷川神社(大黒天)、大川町氷川神社(布袋)、元宿神社(寿老人)、千住神社(恵比寿)、八幡神社(毘沙門天)、河原町稻荷神社(福祿寿)、仲町氷川神社(弁財天)です。

2014年1月11日(土)は、地下鉄の都営三田線の板橋本町駅で降り、環7を赤羽方面に歩き姥ヶ橋陸橋から赤羽駅方面へかつての川筋をいき、稲付城あたりから自然観察園に行きました。そこを出てからかつての軍都の名残である廃線跡を歩き正太郎の母親の出た星美学園前まで行きJR赤羽駅より戻りました。自然観察園はなかなか見ものです。2014年2月1日(土)は、自宅から徒歩で安行の峯の八幡神社に詣でた後、新郷貝塚を見たのち自宅まで歩いて戻りました。正太郎に貝塚を見せるためです。また、私の小学一年生の時の遠足の場所で、当時は歩いて行きました。2014年2月11日(日)は、JR武蔵野線北府中駅までいき、かつての多摩川の河原の砂利を運んだという線路だった下河原緑道跡を歩きました。そして郷土の森博物館を見学し、京王線中河原駅より戻りました。2014年2月22日(土)は、JR武蔵野線府中本町駅で南武線に乗り換え西国立駅より矢川緑地保全地域を経て矢川をいき、ママ下湧水を見てから郷土文化館

を見て、谷保天満宮を経て南武線西府駅より戻りました。2014年3月8日(土)は、JR立川駅より西武拝島線西武立川駅に出た後砂川分水を見て砂川町を歩き、玉川上水の貫井橋からバスで武蔵小金井駅に出た後戻りました。2014年3月15日(土)は、武蔵小金井駅よりバスで貫井橋に出た後、玉川上水脇を歩き、野崎まで歩いて南下し、バスで三鷹駅に出ました。2014年3月21日(土)は、京王線つつじが丘駅から旧野川河床跡を歩き狛江駅に出た後、多摩川のほとりの水神社に出た後多摩川の堤を小田急線多摩川駅まで歩き千代田線で戻りました。2014年3月29日(土)は、武蔵野線東浦和駅から通船堀を経て見沼代用水東縁を草加に向けて歩き、毛長川まで歩き、それから見沼代親水公園からバスで自宅に戻りました。2014年4月6日(日)は、草加駅西口から川口行バスで横道までいき赤堀用水を北上し、川口自然公園までいき、見沼代用水東縁を歩き、JR武蔵野線東川口駅にでて戻りました。2014年4月12日(土)は、横道までバスで出たのち辰井川に出た後、赤堀用水を南下し谷塚北の河内堀に出た後自宅に戻りました。2014年4月27日(日)は、安行の赤山城址を見学しました。赤山城は伊奈一族の居城で、10代までいたとのこと。3代目が玉川上水に関わった伊奈忠治です。2014年5月10日(土)は、自宅から松原手前の古綾瀬川を歩き、東武スカイツリー線新田駅より戻りました。2014年5月17日(土)は、ミドレンの同窓会で東大農学部に行き庭園の整備を手伝い、5月祭を見て戻りました。2014年5月31日(土)は、草加駅からJR武蔵野線南浦和駅を経由し、JR大宮駅まで行きニューシャトルで内宿まで行き上越新幹線添いに綾瀬川源流(備前堤)、を見て戻りました。2014年6月15日(日)は、JR熊谷駅から埼玉水産試験場熊谷支場後跡(ムサシトミヨ保護センター)にいき、荒川の堤から熊谷駅にでてから戻りました。2014年6月21日(土)は、西武新宿線花小金井駅から多摩六都科学館まで歩きプラネタリウムを見て戻りました。2014年7月5日(土)は、JR新橋駅からゆりかもめで国際展示場正門駅を経て、水の科学館を見学し、ゆりかもめのお台場海浜公園駅より戻りました。2014年7月12日(土)は、西武池袋線東久留米駅より落合川南沢湧水群にいき東久留米駅より戻りました。この湧水はなかなかのものです。2014年7月22日(火)は、青梅線羽村駅より多摩川に出た後玉川上水を歩きモノレールの玉川上水駅に出た後JR立川駅より戻りました。2014年7月26日(土)は、玉川上水駅より玉川上水を歩き、JR三鷹駅より戻りました。2014年7月30日(水)は、京王線笹塚駅より玉川上水にでて四谷大木戸まで歩き千駄ヶ谷駅より戻りました。2014年8月17日~19日は、山崎家一家と日光霧降大江戸温泉にいきました。2014年8月24日(日)は、自宅から八潮市資料館にいきました。2014年8月

31日(日)は、JR川崎駅より東芝未来科学館を見学しJR川崎駅より戻りました。2014年9月7日(日)は、上野の科学博物館に家内と正太郎と私の3人で行きましたが、無料でした。2014年9月13日(土)は、西部拝島線の東大和市駅から小川用水をたどりJR武蔵野線新小平駅より戻りました。2014年9月21日(日)は、上野の科学博物館の特別展に行きました。2014年10月12日(日)は、鈴木用水を経てから石神井川の源流を探したのち、西部新宿線花小金井駅より戻りました。2014年10月19日(日)は、JR国分寺駅から西部多摩湖線一橋学園駅にいき、そこから国土交通大学校、関東管区警察学校前を通り大沼田用水、野中用水を経て新青梅街道にでてから、井上家に寄り西部新宿線花小金井駅より戻りました。2014年10月26日(日)は、八潮市資料館に行きました。2014年11月2日(日)も、八潮市資料館に行きました。2014年11月15日(土)バスで川口駅に出てから荒川左岸を歩き、JR武蔵野線西浦和駅から戻りました、2014年11月30日(日)は、JR武蔵野線西浦和駅より荒川左岸を北上し、大宮駅へバスで帰り、帰りました。2014年11月24日(月)は、JR国分寺駅から西部多摩湖線に乗り換え西部遊園地駅で降り、多摩湖を一周してから武蔵大和駅より戻りました。2014年12月6日(土)は、JR大宮駅からバスで桶川西方の荒川までいき、荒川左岸を北上し、バスで大宮駅より戻りました。

2015

2015年1月は、七福神巡りを、谷中で行いました。ちなみに谷中七福神は以下の通りです。不忍池弁天堂(弁財天)、護国院(大黒天)、天王寺(毘沙門天)、長安寺(寿老人)、修性院(布袋)、青雲寺(恵比寿)、田端の東覚寺(福祿寿)です。谷中の七福神は、江戸時代から続く歴史のあるものです。

2015年1月11日(日)は、東武線小菅駅から荒川左岸を川口まで歩きバスで帰りました。私は2度目です。2015年1月18日(日)は、上野の科学博物館の特別展「ひかり展」に行きました。特別展のチケット3人分は館長の林先生からいただきました。2015年1月31日(土)は、東武線北千住駅より荒川右岸を南下し、富賀岡八幡宮に寄り見学した後、南砂町駅から門前仲町駅までいき、長男夫妻に会い昼食後日比谷線茅場町駅経由で戻りました。2015年2月7日(土)は、つくばエクスプレス六町駅より花畑のお酉様まで歩き、その後谷塚の浅間神社までいき富士塚を見て谷塚駅より歩いて戻りました。途中暗渠のコンクリート蓋を歩いていて躓きました。2月21日(土)は、東武線越谷駅より大落とし利根川まで歩き北越谷駅より戻りました。2015年3月1日(日)は、JR新橋駅からパナソニックのショールームを見たのち旧新橋駅を見て新

橋駅より戻りました。2015年4月4日(土)は、東武線越谷駅から葛西用水を南下し草加で桜見物して自宅に戻りました。葛西用水の桜は見事です。2015年4月18日(土)は、亀有駅から葛西用水を北上し、草加まで歩きました。2015年5月5日(火)は、草加駅から北千住経由で亀有駅にいき、そこから葛西用水を南下し東武線曳舟駅より戻りました。2015年5月31日(日)は、亀有駅より中川の跡をたどり古隅田川の跡を小菅駅まで歩き戻りました。2015年6月6日(土)は、半蔵門線大手町駅から皇居東御苑を見学し北の丸公園にいき、九段下駅より戻りました。2015年6月20日(土)は、東武池袋線赤塚駅から前谷津川源流、中流、下流を歩き高島平駅から巣鴨駅にでて戻りました。2015年6月27日(土)は、JR品川駅より品川神社の富士塚を見てから鈴ヶ森刑場跡にでて京浜急行大森海岸駅より戻りました。2015年7月4日(土)は、JR東中野駅から大江戸線光が丘駅まで行き八坂神社の大泉富士に登り、白子川を下り、東武東上線成増駅から朝霞台駅にでてJR武蔵野線北朝霞駅より戻りました。2015年8月1日(土)は、半蔵門線経由、池尻大橋まで行き、目黒富士の移った氷川神社に登り、目黒川を下り茶屋坂に登り恵比寿に出て三越を見学し、JR恵比寿駅より戻りました。2015年8月9日(日)は、JR千駄ヶ谷駅から鳩森八幡神社の富士塚に登りました。これは立派です。2015年8月13-16日は、お盆で山崎一家は新潟の実家に帰りました。2015年8月23-25日は、新幹線とバスで土肥大江戸温泉に行き、海水浴や金山に行きました。

2015年8月30日は、3人で上野の科学博物館特別展「生命の大躍進展」に行きました。2015年9月5日(土)は、は、渋谷駅のハチ公像のところで待ち合わせのち、キャットストリートを行き新宿御苑から新宿駅南口を通り小田急線参宮橋のそばの中華料理店で打ち上げをして代々木上原駅より戻りました。2015年9月12日(土)は、JR池袋駅より東京メトロ有楽町線護国寺駅まで来て護国寺の富士塚に行ったあと上富士前の富士神社に行き、天祖神社の祭礼を見てから海蔵寺の食行行者墓をみて千代田線千駄木駅より戻りました。2015年9月20日(土)、錦糸町駅。JR平井駅、諏訪神社、浅間神社の富士塚を見て、平井駅に戻り、総武線小岩駅から小岩神社の富士塚をみて戻りました。2015年10月4日(日)は、日比谷線三ノ輪駅から都電荒川線に乗り、早稲田まで行き、三朝庵でそばを食べ東京メトロ東西線早稲田駅より戻りました。2015年10月11日(土)は、東京メトロ日比谷線茅場町から東西線葛西駅まで行き、桑川神社、長島香取神社の富士塚を見、さらに雷不動、中割天祖神社の富士塚を見て、葛西駅から茅場町経経由で戻りました。

2015年10月17日(土)は、半蔵門線住吉駅より、都営新宿線瑞江駅まで行き、天祖神社、豊田神社、香取神社の富士塚を見て、一之江駅より戻りました。2015年10月25日(日)は、JR田端駅から田端八幡の富士塚を見て、東十条駅に行き十条富士神社の富士塚を見て、石神井川のそばの板橋、氷川神社の富士塚を見て都営三田線で巣鴨駅、JR新宿駅、秋葉原駅、北千住駅を経て戻りました。2015年10月31日は、東武東上線成増駅から氷川神社、赤塚城跡、板橋区郷土資料館で武蔵千葉氏展を見てから諏訪神社属地にある浅間神社に詣で高島平駅からJR巣鴨駅にでて戻りました。2015年11月8日(日)は、草加駅から東京メトロで東高円寺駅にいきセシオン杉並で正太郎の運動靴のデザインを見て、雨の中を相沢堀の起点を見て、西荻窪の家まで送りました。2015年11月22日(土)は、北千住駅から柳原稲荷神社。大川町氷川神社の富士塚を見て、千住神社に行き、草加駅に戻りました。2015年11月28日(土)は、西新井駅から小衛門稲荷神社、鷲神社、西新井の浅間神社の富士塚を見て大師前駅から戻りました。2015年12月6日(日)は、谷塚駅から花畑浅間神社、東伊興氷川神社の富士塚を見て、竹ノ塚保木間氷川神社の富士塚を見てから竹ノ塚駅から戻りました。2015年12月12日(土)は、日比谷線人形町駅から月星稲荷、天満宮を探した後、鉄砲州稲荷にいき、佃島を経て。大江戸線月島駅、半蔵門線清澄白河駅より戻りました。2015年12月27日(土)は、半蔵門線住吉駅から篠崎浅間神社、船堀日枝神社の富士塚を見て住吉駅に出て戻りました。

2016

2016年1月1日(金)は、西新宿の成子天神に行った後、家内と新宿山の手七福神巡りをしました。ちなみに新宿七福神は、稲荷鬼王神社(恵比寿)、太宗寺(布袋)、法善寺(寿老人)、永福寺(福祿寿)、巖島神社(弁財天)、経時寺(大黒天)、善国寺(毘沙門天)です。2016年1月10日(日)は、日比谷線茅場町駅から東西線葛西駅を経て富士公園に行き、茅場町から戻りました。1月16日(土)は、新宿から花園神社、鬼王稲荷、西向き天神、水稻荷神社の富士塚に行き、東京メトロ東西線早稲田駅より戻りました。1月23日(土)は、東武練馬駅から、下練馬富士を経て、北町富士に行き池袋駅に戻り、西武池袋線江古田駅より江古田富士に行きました。1月31日(日)は、西新宿の成子天神から月見岡八幡の富士塚に行き、東京メトロ東西線落合駅から西荻窪の井草八幡の富士塚を見てから山崎家によって戻りました。2月20日(土)は、

JR 金町駅から富士神社、葛西神社の富士塚を見て、JR 金町駅から戻りました。2月27日（土）は、JR 金町駅から柴又の鎌倉八幡神社の富士塚を経て、京成新小岩より立石駅に出て熊野神社の富士塚を経て立石駅、押上駅を経て戻りました。3月13日（日）は、多磨霊園に墓参りの後、浅間山神社の富士塚を見ました。3月19日（土）は、上野科学博物館で特別展の恐竜展を見て自宅に戻りました。4月10日（日）は、千住の宮城氷川神社の富士塚を見に行きました。4月30日（土）は、JR 池袋駅から清瀬日枝神社、東光院浅間神社の富士塚、下里富士を見てから清瀬駅までバスで戻り、武蔵野線秋津駅に出て戻りました。5月7日（土）は、京王線で府中の熊野神社に行きました。もと古墳とか。5月21日（土）は、京王線柴崎駅から深大寺を経て、深大寺浅間神社に行きましたが、道路拡張のため富士塚はありませんでした。6月4日（土）は、横浜関内のせともの市に行きました。鍋島焼きと織部焼きの小皿を求めました。6月5日（日）は、JR 池袋駅から東久留米富士に行きました。6月11日（土）は、JR 高田の馬場駅から東村山の久米川富士塚、浅間塚を経て所沢駅に出て、西武池袋線で秋津に出て武蔵野線秋津駅より戻りました。6月25日（土）は、西立川駅から浅間神社、武蔵境駅に戻り、杵築神社の富士塚に行きました。6月26日（日）は、代々木公園の大骨董市を見に行きました。7月2日（土）は、草加駅から五反野駅まで行き、西宮稲荷の富士塚を見て、綾瀬稲荷の富士塚に行き北千住より戻りました。7月10日（日）は、草加駅から北千住駅に出て、JR 常磐線経由で駒込駅より東京メトロ南北線白山駅より白山神社の富士塚をみて、南北線で目黒に出てから、大崎駅のそばの居木神社の富士塚を見て山手線、半蔵門線で戻りました。7月16日（土）は、新宿から京王線でつつじが丘駅に出て、中嶋神社の富士塚を見てから、バスで吉祥寺駅に出て、西荻窪の山崎家に寄り戻りました。7月30日（土）は、北千住駅から旧日光街道を南下し素戔鳴神社、隅田川ほとりの石浜神社から東武線東向島駅に出て戻りました。8月6日（土）は、押上駅から京急線穴森稲荷の富士塚、羽田神社の富士塚を見て戻りました。8月13日（土）は、下北沢駅から森厳寺、明大前の扶桑神社に出て、都営線住吉駅に出て半蔵門線で戻りました。森厳寺の富士塚は建物が立って、既に無くなっていました。8月21日（日）は、草加から亀戸水神駅に出て、浅間神社の富士塚を見に行き戻りました。9月3日（土）は、草加駅から常磐線経由で巣鴨駅に出て都営三田線で志村3丁目駅から志村城跡の熊野神社、志村小学校を見て、小豆沢通りを赤羽の稲付城跡に出て川口駅からバスで戻りました。9月11日（日）は、草加駅から東京メトロ千代田線根津駅迄行き、弥生坂、s坂、根津裏門坂

を経て団子坂を下り、夜店通りにでて、ゆうやけだんだんを経て御殿坂を下り日暮里駅に出てから西日暮里駅より戻りました。9月18日〈日〉は、草加駅から半蔵門線九段下駅まで行き、九段坂、中坂、冬木青木坂を上り、靖国神社の中を通り、赤坂プリンスホテルの前の諏訪坂を下り半蔵門線永田町駅から戻りました。9月24日（土）は、草加駅から新越谷駅に行き、越谷駅から武蔵野線で西船橋駅、南船橋駅から外房線土気駅からバスでホキ美術館で写実画を見て、千葉駅から錦糸町駅まで行き、戻りました。念願を果たしました。2016年10月2日〈日〉は、JR飯田橋の神楽坂を上り、赤城坂を下り、渡辺坂、地藏坂を経て、東京メトロ東西線早稲田駅より戻りました。2016年10月9日〈日〉は、東京メトロ千代田線赤坂駅から転坂、氷川坂、南部坂、榎坂、霊南坂、行合坂、落合坂を経て麻布十番より大江戸線で清澄白河駅に出て半蔵門線で戻りました。2016年10月15日（土）は、東京メトロ日比線六本木駅から芋洗坂、鳥居坂、狸穴坂、鼠坂、植木坂、永坂、暗闇坂、一本松坂、仙台坂を通り麻布十番より戻りました。

以下に参考文献をあげます。よく読んだものです。この他に web の記事も参考にしました。

「東京を歩く」参考文献

東大農学部を定年退職後、武蔵野台地の川や用水を歩きましたが、その参考書を列挙しました。ご参考までに。

1. 荒俣 宏 江戸の醍醐味 pp.241 光文社
2. 石川 初 ランドスケールブック -地上へのまなざし pp.143 LIXIL 出版
3. 井口悦男・生田 誠 東京今昔を歩く地図帳 PP.191 学研パブリッシング
4. 石黒敬章 明治の東京写真 新橋・赤坂・浅草 pp.255 角川学芸出版
5. 石黒敬章 明治の東京写真 丸の内・神田・日本橋 pp.247 角川学芸出版
6. 伊藤好一 江戸上水道の歴史 pp.215 吉川弘文館
7. 伊藤成郎 江戸・幕末を切絵で歩く pp.238 PHP 研究所
8. 井伏鱒二 荻窪風土記 pp.267 新潮社
9. 今尾恵介 地図で読む昭和の日本 pp.34 白水社
10. 上村敏彦 花街・色街・艶な街 pp.135 街と暮らし社

11. 上村敏彦 東京 花街・粋な街 pp.247 街と暮らし社
12. 氏家幹人・服部 崇・菅井靖雄 山川 MOOK 江戸東京切絵図散歩 山川出版社
13. 内田宗治 「水」が教えてくれる東京の微地形散歩 pp.223 実業之日本社
14. 江戸いろは会編 江戸歴史散歩 pp.191 講談社
15. 「江戸楽」編集部編 古写真を見て歩く 江戸・東京歴史探訪ガイド pp.127 メイツ出版
16. 遠藤ユウキ 東京の「痕跡」 PP.219 同文館出版
17. 近江俊秀 道が語る日本古代史 pp.243 朝日新聞出版
18. 大田区立郷土博物館編 大田区 古墳ガイドブック 大田区土木公園課
19. 大田区立郷土博物館編 大昔の大田区 原始・古代の遺跡ガイド pp.128 大田区立郷土博物館
20. 大石 学 坂の町江戸東京を歩く pp.432 PHP 研究所
21. 大岡昌平 武蔵野夫人 pp.250 新潮社
22. 大竹昭子 日和下駄とスニーカー pp.237 洋泉社
23. 大塚初重 東京の古墳を歩く pp.236 祥伝社
24. 荻窪 圭 東京古道散歩 pp.255 中経出版
25. 荻窪 圭 古地図でめぐる今昔東京散歩ガイド pp.143 玄光社
26. 小和田哲男 戦国合戦の真実 pp.159 小学館
27. 貝塚爽平 東京の自然史（増補第二版） pp.239 紀伊国屋書店
28. 貝塚爽平 東京湾の地形・地質と水 pp.211 築地書館
29. 梶井公子 あるく渋谷川入門 pp.217 中央公論
30. 河合 敦 ぶらり大江戸時代劇散歩 pp.247 学研パブリッシング
31. 川副秀樹 東京の「年輪」発掘散歩 pp.199 言視舎
32. 木下直之/岸田省吾/大場秀章 東京大学 本郷キャンパス案内 pp.211 東京大学出版会
33. 近藤富枝 本郷菊富士ホテル pp.245 中公文庫 中央公論社
34. 近藤富枝 田端文士村 pp.275 中公文庫 中央公論社
35. 交通新聞社 散歩の達人 20歳からの東京散歩 むかしまちむかしみち pp.128 交通新聞社
36. 埼玉県西部地域博物館入間川展合同企画協議会編 入間川4市1村合同企画展 展示図録 入間川再発見 pp.136 埼玉県西部地域博物館入間川展合同企画協議会
37. 埼玉県立博物館 埼玉・歴史の道 pp.178 埼玉新聞社

38. 埼玉県立文書館編 古地図を楽しむ pp.159 埼玉新聞社
39. 散歩の辣人 MOOK 編集部 むかし街さんぽ首都圏版 pp.127 交通新聞社
40. JTB パブリッシング 廃線跡ウォーキング 東日本 pp.159 JTB パブリッシング
41. 陣内重信 東京の空間人類学 pp.332 ちくま学芸文庫 筑摩書房
42. 陣内秀信+法政大学陣内研究室編 水の都市 江戸・東京 pp.223 講談社
43. 陣内秀信・三浦 展 編著 中央線がなかったら見えてくる東京の古層 pp.223 NTT 出版
44. 真野栄一・遠藤宏之・石川 剛 みんなが知りたい 地図の疑問 50 pp.206 ソフトバンク クリエイティブ
45. 人文社編集部 もち歩き 江戸東京散歩 pp.160 人文社
46. 人文社編集部 古地図ライブラリー 切絵図・現代図で歩く 江戸東京散歩 pp.128 人文社
47. 人文社編集部 古地図ライブラリー 0 時代小説の舞台を見に行く 嘉永・慶応 新・江戸切絵図 pp.128 人文社
48. 新人物往来社編 江戸切絵図今昔散歩 pp.223 新人物往来社
49. 鈴木直人・谷口 榮・深澤靖幸 遺跡が語る東京の歴史 pp.273 東京堂出版
50. 菅原健二 川の地図辞典 江戸・東京/23 区編 PP.464 之潮
51. 菅原健二 川跡からたどる江戸・東京案内 PP.222 洋泉社
52. 杉並区立郷土博物館編 杉並の川と橋 pp.110 杉並区立郷土博物館 研究紀要別冊 研究紀要第 11 号・第 12 号合併号 杉並区立郷土博物館
53. 杉並団体研究会編 杉並の地形・地質と水環境のうつりかわり 杉並区郷土博物館 研究紀要別冊 杉並区立郷土博物館
54. 杉並区教育委員会 文化財シリーズ 37 杉並の通称地名 pp.145 杉並区教育委員会
55. 鈴木理生 江戸の川・東京の川 pp.305 井上書院
56. 成美堂出版編集部 週末を楽しむ 東京下町散歩・山の手散歩 pp.191 成美堂出版
57. 関 裕二 奈良・古代史ミステリー紀行 pp.127 PHP 研究所
58. 関口 勇(ワンダーJAPAN 編集部) 廃線跡の記録 4 pp.111 三オブックス
59. 高村弘毅 東京湧水 せせらぎ散歩 pp.111 丸善
60. 竹内正浩 空から見える東京の道と街づくり pp.159 実業之日本社

61. 竹内正浩 地図だけが知っている日本 100 年の変貌 pp.221 小学館 101 新書 小学館
62. 竹内正浩 地図と愉しむ東京歴史散歩 pp.183 中公新書 2170 中央公論社
63. 武光 誠 世界地図から歴史を読む方法 pp.205 河出書房新社
64. 武光 誠 日本地図から歴史を読む方法 pp.208 河出書房新社
65. 館野充彦 山手線 29 駅 ぶらり路地裏散歩 pp.247 学研パブリッシング
66. 田中優子・石山貴美子 江戸を歩く pp.206 集英社
67. 谷川健一 日本の地名 pp.226 岩波新書 岩波書店
68. 田淵 洋編 自然環境の生い立ち[第三版] 第四紀と現在 pp.206 朝倉書店
69. 田原光靖「春の小川」はなぜ消えたか 渋谷川にみる都市河川の歴史 pp.226 之潮
70. 東京人 東京人 東京の地名 2005 年 5 月号 no.214 都市出版
71. 東京人 東京は坂の町 2007 年 4 月号 no.238 都市出版
72. 東京人 三鷹に生きた太宰治 2008 年 12 月増刊 no.262 都市出版
73. 東京人 山の手 100 名山 2012 年 10 月号 no.316 都市出版
74. 東京人 日本細菌学の父 北里柴三郎 2012 年 7 月増刊 no.313 都市出版
75. 東京人 東京地形散歩 2012 年 8 月号 no.314 都市出版
76. 東京人 山の手 100 名山 2012 年 10 月号 no.316 都市出版
77. 東京人 空から見た東京の今昔 2012 年 1 月号 no.320 都市出版
78. 東京人 東京の古道を歩く 2013 年 8 月号 no.328 都市出版
79. 東京大学海洋アライアンス編 地震に克つニッポン pp.112 小学館
80. 東京都江戸東京博物館 図表で見る江戸・東京の世界 pp.159 東京都歴史文化財団
81. 東京都歴史教育研究会編 東京都の歴史散歩 上 下町 pp.278 山川出版社
82. 東京都歴史教育研究会編 東京都の歴史散歩 中 山手 pp.301 山川出版社
83. 東京都歴史教育研究会編 東京都の歴史散歩 下 多摩・島嶼 pp.300 山川出版社
84. 東京遊歩連編 スカイツリー下町歴史の散歩道 pp.189 山川出版社
85. 永井荷風 日和下駄 pp.217 講談社
86. 中沢新一 スカイダイバー pp.252 講談社

87. 中沢新一 大阪アースダイバー pp.317 講談社
88. 難波匡甫 江戸東京を支えた舟運の路 内川廻しの記憶を探る pp.279
法政大学出版会
89. 西野博道編 続・埼玉の城址 30 選 pp.194 埼玉新聞社
90. 芳賀善次郎 旧鎌倉街道 上道編 pp.252 さきたま出版会
91. 芳賀善次郎 旧鎌倉街道 中道編 pp.205 さきたま出版会
92. 芳賀善次郎 旧鎌倉街道 下道編 pp.222 さきたま出版会
93. 芳賀ひらく デジタルの鳥瞰 江戸の崖 東京の崖 pp.207 講談社
94. 林 順信 東京都電慕情 pp.159 JTB
95. 藤井耕一郎・岩崎義人 pp.143 JTB パブリッシング
96. 法政大学エコ地域デザイン研究所編 外濠 pp.178 鹿島出版会
97. 文京区教育委員会 文京の歩み その歴史と文化 pp.351 文京区教育委員会文京ふるさと歴史館
98. 文京ふるさと歴史館編 徳川御三家 江戸屋敷発掘物語 -水戸黄門邸を探る- pp.96 文京区
99. 平成御徒組 幕末・維新の江戸・東京を歩く pp.207 角川SSコミュニケーションズ
100. 平凡社 5mメッシュ・デジタル標高地形図で歩く 東京凸凹地形案内 pp.95 平凡社
101. 本田 創 地形を楽しむ 東京「暗渠」散歩 pp.239 洋泉社
102. 本間信治 江戸東京残したい地名 pp.334 自由国民社
103. 堀淳一 地図のたのしみ pp.275 河出書房新社
104. PHP 研究所 小田急電鉄のひみつ pp.223 PHP 研究所
105. PHP 研究所 東京メトロのひみつ pp.222 PHP 研究所
106. PHP 研究所 東部鉄道のひみつ pp.219 PHP 研究所
107. 正井泰夫 歴史で読み解く！ 東京の地理 PP.202 青春出版社
108. 皆川典久 東京「スリバチ」地形散歩 pp.287 洋泉社
109. 皆川典久 東京「スリバチ」地形散歩 2 pp.247 洋泉社
110. メディアユニオン 東京の川と水路を歩く pp.191 実業之日本社
111. 森まゆみ むかしまち地名事典 pp.251 大和書房
112. ロム・インターナショナル編 東京を江戸の古地図で歩く本 pp.221
河出書房新社
113. 安田就視 江戸・津峡百景 広重と歩く pp.240 角川SSコミュニケーションズ

114. 山野 勝 江戸と東京の坂 pp.223 日本文芸社
115. 山野 勝 古地図で歩く 江戸と東京の坂 pp.223 日本文芸社
116. 吉岡哲巨 大江戸散歩 MAP pp.145 双葉社
117. 渡邊秀樹・樽 永 東京ぶらり暗渠探検 消えた川をたどる！ pp.111
洋泉社
118. 渡辺千昭・瀬尾 央 東京周辺の山々 pp.92 山と溪谷社
119. 渡部一二 図解 武蔵野の水路 多摩川上水とその分水路の造形を明
かす pp.221 東海大学出版会
120. 成美堂出版編集部 明治・大正・昭和をめぐる東京散歩 pp.144
SEIBIDO MOOK 成美堂
121. 特別展「春の小川」の流れた街・渋谷 一川が映し出す地域史― 白根
記念渋谷区郷土博物館・文学館
122. 廃線跡の記憶 4 (株) 3 オブックス pp.111